

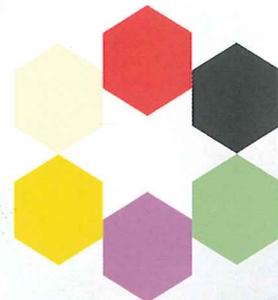
長野県

須坂市

Suzaka

いきいきすざか
別冊 **KURA**
定価 1000 yen

N A G A N O



須坂 JAPAN
Suzaka

將軍を叱った男

直虎が残した須坂の文化。

蔵のまち須坂

まちあるき図譜

2016年NHK大河ドラマ 真田丸

オープニング映像ロケ地・米子大瀑布

日本一の笑顔を目指すリゾートカーディーラー

株式会社 酒井商會



常笑!最高!の元気なガスを決める酒井商會のスタッフのみなさん。毎日声を出しているせい、声が大きく、よく通るのが印象的だ。本年度は約50社が見学に訪れている

「中小企業が輝けば、日本が輝く!」をモットーに2008年から行われている「感動物語コンテスト」。各社の従業員がパワーポイントなどを使って手作りする「ドキュメンタリー作品」のコンテスト。2013年の日本一に輝いた賞状



元気な朝礼が毎日のルーティン 気持ちを一つにしないと始まらない

酒井商會の朝は元気な朝礼から始まる。「常笑!」「最幸!」「イエイ!」と社員同士が目を合わせ、両手の親指を立てて確認しあうように言葉を交わす。それから間髪入れず、この日のリーダーが「おはようございます。ウィー」とお辞儀をすると、全員がそれに続く。ふざけているのかと思いきや、この「ウィー」がポイントである。声に出してみると分かるが、自然と口角が上がる筋トレなのだ。少し可笑しくて笑ってしまう効果もある。さらに続く。経営理念を唱和し、「職場の教養」を輪読して感想を述べ合い、最後は「今日も日本が平和でありますように」と身の回りのこと、日本のことなど様々な事柄を祈る。朝礼は約25分間。いわゆる「活力朝礼」と呼ばれる時間で、同社では形を変化させながら10年ほど前から取り入れている。

当初は「なぜこんな朝礼をやるのか」と

反発もあったそうだが、今では「朝礼をしないと1日が始まらない」という社員が増え、ルーティンのように定着している。酒井社長は「これからは、もっと自然に、みんなが笑顔になり、心が温くなる朝礼にしたい」とさらなる進化を目指している。

社員の団結から生まれた日本一 これからも感動が与えられる会社に

朝礼を取り入れたのは同社が加盟する倫理法人会で、正しいお辞儀の姿勢や、「ハイ」という返事の早さなど、酒井社長が新しい会社づくりに取り入れたいと思ったことが始まりだった。先代の急逝による使命感もあった。社員の反発には、良い環境づくりに必要な「SMCM※」について理解を求め、少しずつ浸透させた。そして生まれた目標が「長野県で一番の笑顔と『ありがとう』が集まるリゾートカーディーラー」。お客様がワクワクし、何度でも行きたくなるリゾートのような職場づくりである。

社員同士のコミュニケーションが良くなるなど、朝礼の成果が見え始めてきた頃、それを裏付けるように、2013年には全国の中小企業が職場で起きた感動のエピソードを発表する「第6回感動物語コンテスト」で日本一の栄冠を手にした。内容は、お客様との会話の中から病気の家族がいることを知った従業員たちが一丸となり、日々の朝礼で回復を祈り、千羽鶴を折って贈ったことや、手術で快方に向かったエピソードを紹介。お客様の悩みを自分のことのように考え、行動する温かな交流が多くの感動を呼び全国の頂点に立った。良い会社、良い講演会があると聞けば、自ら足を運び、感動を社員に還元する酒井社長の姿勢もまた、全国から注目される良い会社づくりの礎となっている。

※S=理念や方針などスタートを合わせる、M=モチベーションを上げる、C=コミュニケーションを高める、M=マナーを磨くこと。

みんなが笑顔に、心から温くなる朝礼

しょうしょう
常笑・最幸!



しょうしょう
常笑!



イエイ!

常笑・最幸!
1対1で向き合い、「常笑!」「最幸!」と言って握手を交わし、親指を立てて互いに「イエイ!」。これを全社員と行う。

おはようございます
ウィー—!



挨拶実習

日替わりのリーダーに続き、全員が「おはようございます。ウィー—」とお辞儀する「いらっしゃいませ。ウィー—」「ありがとうございます。ウィー—」口角筋を鍛えるトレーニングにもなり、自然な笑顔につながる。



笑顔のバッチンリレー
社長を中心に弧を描くように向き合う。社長「おはようございます。笑顔のキャッチボールをします」と言って、1人ひとりとニコリ笑顔を交わす

自分の意見を発表し、人の意見に耳を傾ける



「職場の教養」を輪読し、3~4人のグループごとに感想を述べ、最後にグループリーダーが全員の前で発表する。自分の意見を述べることで、人の意見に耳を傾ける力を養う。

ツイてる、ツイてる、
ツイてるよ

しょうしょう
常笑! 最幸!



終了

全員で人差し指を掲げ「常笑! 最幸!」と発する。リーダー「解散します」の掛け声の後、全社員が1対1で順次向き合い「イエイ!」の声で両手をパチンと合わせて終了。



ユニークな動き

両手をピースサインにして体を左右に揺らしながら「ツイてる、ツイてる、ツイてるよ」と唱和するユニークな動き。「長野市の中央タクシーさんにならって取り入れています」と酒井社長。思わず笑ってしまうことも大事という。



〒須坂市高梨町 2535
☎026-245-0397

株式会社酒井商會

1910(明治43)年、自転車販売店として創業。現在は自動車の販売から点検、修理、車検、保険代理業、リースなど車に関わるすべてを手掛ける。2013年には「感動物語コンテスト」で日本一になったほか2015年まで3年連続で上信越地区予選会で優勝し、全国大会に出場している。2013年から酒井農場での米作り、鈴木家のカレー「チチローカレー」(メジャーリーグ、イチロー選手も食べていたカレー)の長野県代理店。従業員15名。



酒井志郎さん

株式会社酒井商會、マツダオートザムズザカ代表取締役社長。1964年須坂市生まれ。2001年から同社社長。須坂市少年硬式野球連盟副会長、信濃グランセローズ後援会幹事・理事。2013年から「ミスター・笑顔・挨拶の伝道師」として地元中学校を中心に講演会などを開催。

